

国際会議から

アメリカ地球物理学連合2019秋期大会
(AGU Fall Meeting 2019)

本会議は、アメリカ合衆国の地球物理学に関する学会の年次大会であり、2019年はサンフランシスコにおいて12月3日から9日に開催されました。私の研究分野である地震のみならず、気象や海洋、宇宙などの多様な分野の研究者が世界中から集まる規模の大きな会議です(図1)。参加者の多さや会場の広さなどに圧倒されるとともに、地球物理学の学問領域の広さを体感しました。

筆者は、本会議において早期地震警報の精度向上に向けた地震観測点の環境と地震諸元の推定精度の関係に関するポスター発表を行いました(図2)。世界中の研究者からさまざまな質問を受けディスカッションを通じて有益な知見を得ることができました。オーラルセッションではイタリアのナポリ大学ゾロ教授やアメリカ地質調査所(USGS)のワルド博士など著名な研究者の講演を聞く機会も得られました。

アメリカ合衆国西海岸の主要都市であるサンフランシスコは、地下鉄やトラムなどの公共交通機関が発達しており、空港へのアクセスや市内の移動は不自由を感じることがありません。丘の街であるサンフランシスコのケーブルカーは、市民の移動手段であるとともに観光客にも人気の乗り物です(図3)。



岩田直泰
鉄道地震工学研究センター
地震解析研究室長



図1 学会会場の外観(Moscone Convention Center, South)
写真はSouth会場、近くにWest会場とNorth会場があり3会場で開催された

正式名称：American Geophysical Union Fall Meeting 2019
開催国：アメリカ合衆国(サンフランシスコ)
期間：2019年12月9日～13日
主催：American Geophysical Union (AGU)
開催頻度：毎年
次回開催予定：2020年12月
アメリカ合衆国(サンフランシスコ)
ホームページURL：<https://www.agu.org/fall-meeting-2019>

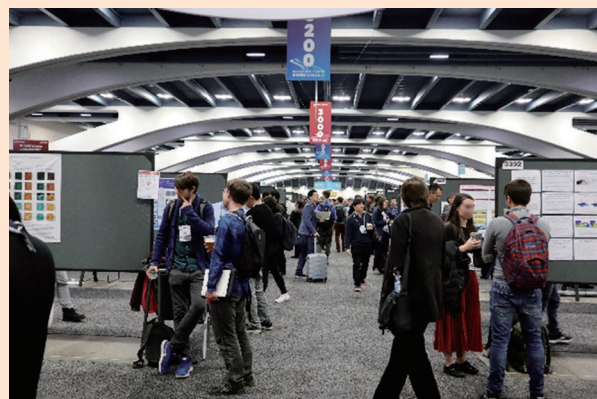


図2 ポスターセッションの会場



図3 サンフランシスコのケーブルカー